



URL <http://www.mct.ne.jp/>

users/obamasho/

☎ 42-0501 FAX 42-0518



「特別支援教育の取組」

校長 白田 実

先月の令和8年度入学説明会では、新入学児保護者の皆様に本校の特別支援教育の取組についてお話ししました。今回は在校生の保護者や地域の皆様にも本校の取組をより深く知っていただけるよう概要をご紹介します。

特別支援教育の考え方

学校では、子どもたちが自立し社会に参加するために必要な力を育てることを目指し、一人一人の教育的ニーズを丁寧に把握し、その可能性を最大限に伸ばすことができるよう教育活動の中で様々な支援を行っています。得意・不得意、学ぶスピード、集中しやすい環境などは子どもによって異なります。そのため、学習内容を調整したり、個別に集中できる場を整えたり、反対に同じ学年の友達と一緒に体験する活動を取り入れたり、学び方に応じた工夫を取り入れています。

また、生活の中で生じる「うまくいかない」、「どうしたらよいかわからない」といった困り感を受け止め、個性を伸ばしながら必要な支援を行う仕組みが特別支援教育です。子どもたちが安心して学び、成長できるよう、学校全体で取り組んでいます。

特別支援教育に係る学校体制

- 1 特別支援教育コーディネーター
特別支援教育の全体の計画を作成したり、子どもや保護者の皆様の教育相談に対応したりもする役割です。
- 2 学級担任
子どもたちの実態を把握し、困り感を軽減・解消するための計画を作成したり、教育相談に対応したりします。
- 3 特別支援教育支援員
主に通常学級で困り感を抱える子どもたちへの支援を行っています。
- 4 校内教育支援委員会
学級全体で子どもたちの困り感の軽減・解消に向け情報を共有したり、今後の対応を検討したりします。

特別支援教育の視点に基づいた学び方

子どもたちそれぞれの困り感を配慮しながら、学び方を工夫します。

(たとえば…)

- ・ 文字を読むのが苦手
⇒ 文章題をよみあげる
- ・ ルールを説明したけどわからない
⇒ ルールを図で説明したり、実際に体を動かしながら話したりする
- ・ 周りの声や音がとても気になる
⇒ 静かな場所に移って学ぶ

必要に応じて特別支援学級で対応したり、通常学級で担任や特別支援教育支援員が対応したりします。

支援が行われるまでの流れ

- 1 子どもの「困り感」を知る
子どもからの訴え、保護者や子どもを支えてくださっている方々からの連絡、学校職員の気付きから、子どもの「困り感」を把握し、どんな場面のどんなことで困っているかどんな願いをもっているかを共有します。また、共有したことをもとにどのように支援していくかを校内教育支援委員会で話し合います。
- 2 支援の計画を立てる
校内教育支援委員会で話し合われた事柄をもとに、特別支援教育コーディネーターや各担任が連携して、「困り感」の軽減・解消に向けた支援計画を立てます。支援計画については、保護者とも共有し、共通理解を図ります。
- 3 支援を実践する
通常学級においては、担任と特別支援教育支援員が連携しながら、支援計画に沿って、それぞれの子どもに合わせた支援を行います。特別支援学級では、教科学習だけでなく、ビジョントレーニングやソーシャルスキルトレーニングなど、生活や学習を自分らしく行うための力を育てる活動も行います。

相談窓口について

学校に相談したい場合は、特別支援教育コーディネーターだけでなく、担任、管理職等、だれにご相談いただいてもかまいません。また、学校から案内のある就学相談(特別支援学校の職員が対応)、やスクールカウンセラーへの相談も活用できます。また、学校以外にも病院や霧島市こども発達サポートセンターあゆみ、市こどもくらし相談センター、子育て支援課などの窓口でも相談に対応してまいります。

すべては子どもたちが自分らしく、より生き生きと楽しく過ごすための特別支援教育です。気になること等ございましたら、いつでも、ご相談ください。

2月の生活目標

友だちについて考えよう

2月の保健目標

心の健康について知ろう

2月中旬～3月初旬の主な行事

【2月】

- 20日（金）なわとび大会 学校保健委員会
学級PTA
2回目校納金振込日
- 25日（水）県下一周市郡対抗駅伝応援
- 26日（木）卒業式練習
- 27日（金）お別れ遠足(6年生を送る会)

【3月】

- 3日（火）すずかけ号来校
- 10日（火）卒業式予行
- 14日（土）土曜授業 第2回学校評価委員会
親子ふれあい活動（午後）

1月の行事・できごと紹介

○ 新入学児体験入学

1/20（火）に、新1年生の体験入学を行いました。体験に来てくれた子どもたちは、2年生教室で交流活動に参加しました。

交流活動は、1・2年生の温かい歓迎の言葉から始まり、学校紹介クイズや学校探検など、楽しさいっぱいの内容でした。この日のために、1・2年生は数日間かけて準備を進めてきました。当日は、その成果がしっかりと表れ、子どもたちはいつも以上に頼もしい姿を見せてくれました。

新1年生は、在校生とすぐに仲良くなり、笑顔で活動に参加していました。学校の楽しさや安心感が伝わる、和やかなひとときとなりました。

4月に入学してくる新1年生は5名の予定です。

○ 読書集会

今回の読書集会では、児童によるおすすめの本の紹介に加え、下学年と上学年が一緒に行う読み聞かせの活動を行いました。下学年が上学年に絵本を読んだり、高学年が低学年に読み聞かせをしたりと、学年の違いを越えた関わりの中で、読書の楽しさを分かち合いました。

読み手となった子どもたちは、相手の様子を見ながら、声の大きさや読む速さを工夫し、一生懸命に絵本を読んでいた。聞き手の子どもたちも、物語の世界に引き込まれ、うなずいたり笑顔を見せたりしながら、楽しそうに聞いていました。

この活動を通して、読む力や聞く力だけでなく、相手を思いやる気持ちや、伝え合うことの大切さを感じることができました。今後も、子どもたちが本に親しみながら、互いに学び合える機会を設定していきたいと思えます。

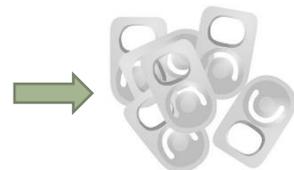


○ ベルマーク回収終了のお知らせ

以前、小浜小学校では委員会活動でベルマークを回収していましたが、この取組みを昨年度いっぱい終了いたしました。保護者や地域のみなさまには多くのご協力をいただきありがとうございました。ベルマーク回収と一緒に行ってた缶のふた部分のプルタブ回収は今後も継続していきます。そちらへのご協力につきましては今後ともよろしくお願いたします。



ベルマーク回収終了



プルタブ回収継続